

(2) 審議内容

区民会議では、本会議や部会での議論を通じて、課題認識を深めた後、解決に向けた取り組み事項を審議しました。

子育てをしている人たちの支援ニーズを把握する必要があるとの意見で一致し、具体的にどのようなアンケート項目が必要か話し合いました。このアンケートは、区が行う乳幼児健診時などで実施することに決定しました。また、世代間で交流し、住民同士の絆を深める取り組みが必要との意見も出たため、多世代交流できるイベントの実施も決定しました。

地域の子育て支援体制に関する課題認識

- ・区役所や子育て支援団体の取り組みに関する情報が区民へ行き届いていない。
- ・子育て支援の担い手が不足している。
- ・地域で子育てを支援する体制が不十分である。
- ・公園や子育てサロンに出こない保護者への支援が必要である。
- ・住民同士のコミュニケーションが減っており、地域で子どもを育てる力が衰えている。
- ・既存の子育て支援策以外に行った方がよい施策を確認する必要がある。



取り組みの方向性（課題調査部会の検討結果）

1 子育て世代のニーズを把握する

悩みや困っていることなど、参加者の現場の声を聞き、地域づくりに反映する。



今後の検討事項

- ・誰を対象にどのような内容を聞くのか
- ・インタビュー形式か、アンケート形式にするのか

2 多世代交流できるフリースペースを提供する

区民祭、区役所の検診や予防接種、ふれあいフェスタなどの区のイベント等で多世代が交流できるフリースペースを設置する。



今後の検討事項

- ・いつのイベントで、行うか
- ・どのようなプログラムで行うか
- ・協力を呼びかける団体はあるのか

あわせて実施する

3 子育て支援団体に情報提供する

集まった情報を整理して、団体や地域に提供し、支援の参考情報とする。

4 子育て支援情報をまとめた情報メディアのあり方を検討する

- ・既にある「子育て支援情報」をとりまとめて発信する。
- ・ホームページや広報誌などのメディアを使う。



(3) 課題解決に向けた取り組み事項

平成23年7月15日に開催された第2回区民会議では、課題調査部会における審議を受けて、「地域における子育て応援体制づくり」の具体的な取り組み事項をまとめました。

■ 検討テーマ「地域における子育て応援体制づくり」取り組み事項

取り組み内容（分野）		具体的な実行方法（解決策）	
地域・区民・区民会議の取り組み	子育て世代などの区民のニーズ把握	●中原区の子育て世代の支援ニーズを把握するために区役所の健診や、区民祭などのイベント開催時に合わせてアンケート調査を行う。	
	子育て世代の集会やイベントに参加	●区民会議の委員が所属する子育てサロン等の活動や、区役所や市民館で行う子育て支援事業の開催時に、区民会議の委員が積極的に参加し、手伝いをしたり、参加者の生の声を聞き、何が悩みか困っている事などを聞く。	
	多世代交流の場づくり	学校との連携交流	●小中高生が子育てサロンに参加して世代間交流を行っている総合学習などの事例を取りまとめ、区内の学校に事例として紹介する。
		イベントを活用した多世代の交流の場の提供	●区役所の健診や、区民祭などのイベントの開催時に合わせて、区役所のデッキ等も活用しながら子どもからお年寄り、父親も気軽に参加できる多世代の交流の場づくりを行う。併せて子育てを応援するPRや、情報発信を行う。
	様々な主体との連携体制づくり	団体の連携促進	●多世代交流の場を設置する際に、中原区民交流センター「なかはらっば」の登録団体などの各種団体に協力をあおぐなどとして、団体同士の連携を促進させるための仲介役を区民会議が担う。
		団体への情報提供	●アンケートなどで集まった子育て世代の支援ニーズ情報を整理して、地域や活動団体に参考情報として提供を行う。
よる区民と行政の協働に 取り組み	情報提供のあり方の検討	●ホームページや広報誌などの、子育て支援情報をまとめた情報メディアのあり方を検討する。	
行政の取り組み	現状の支援策の検証や活用	●子育て支援策を拡充する。	
		●子どもに関する相談事は、区役所こども支援室の相談窓口につないだり、地域福祉計画と連携をはかる。	

実行主体 (協力依頼団体)	実施スケジュール		
	23年 7～9月	10～12月	24年 1～3月
区民会議	アンケート 内容の検討	アンケート の実施	アンケートの 集計・分析
区民会議 子育て支援活動に関わる各団体	取り組みの 実行		
区民会議			参考情報の 取りまとめ
区民会議	場づくりの 検討	子育てふれあい カフェの実施	
区民会議 子育て支援活動に関わる各団体 「なかはらっば」の登録団体や地域の活 動団体	場づくりの 検討	子育てふれあい カフェの実施	
区民会議	アンケート 内容の検討	アンケート の実施	アンケートの 集計・分析
区民会議 中原区役所	アンケート 内容の検討	アンケートの 実施	アンケートの 集計・分析
中原区役所	取り組み の実行		
中原区役所	取り組み の実行		

区民会議で取り組み報告・検証

(4) 課題解決に向けた取り組み事例

区民会議で解決に向けた取り組みについて議論を行った、「地域における子育て応援体制づくり」に向けて取り組みを実践しましたのでご紹介します。

■ 子育てアンケートの実施

区民会議では、子育て世代の方々がどのような子育て支援を必要としているかを把握するため、子育てアンケートを実施することにしました。アンケートは区役所の乳幼児健診を受診するために来所する保護者を対象とし、平成23年10月から12月の間、537名の方に御協力いただきました。



アンケート結果

の詳細は、30～31ページに掲載しています。区役所では、このアンケートの結果を活用しながら子育て支援策を検討していきます。また、子育て支援活動をしている団体などにも結果を報告し、今後の活動に役立ててもらおう予定です。



■ 学校と子育てサロンの連携

中原区独自の取り組みである子育てサロンを子どもの健全育成や世代間交流の場としても活用するため、小中学校に子育てサロンが出張して、生徒が乳幼児に触れる機会を設ける取り組みが進んでいます。この取り組みは子育てに関する活動している委員の参加により、行われています。平成23年度は、小学校2校（上丸子・西丸子）、中学校3校（宮内・西中原・中原）で実施しました。このうち、西丸子小学校は23年度が初めての取り組みでした。今後もこうした動きが広がることを目指して、関係団体への情報提供などを行っていきます。



■ 子育てふれあいカフェの開催

平成23年10月21日に区役所本館横のウッドデッキで「子育てふれあいカフェ」を開催しました。このイベントは、地域で子育て中の区民が孤立しないように交流の場を設け、地域とのつながりを深めることを目的としています。当日は、健診を受けた親子に大勢立ち寄ってもらうことができ、幼児食の試食や音楽ミニライブを楽しんでくれました。



■ メタルパッチワークを体験

区民会議の審議を受け、中原区役所では、市民提案型事業として、「地域で見守る子育て応援事業」2事業を実施しました。そのうちの 하나가メタルパッチワークです。これは、ものづくりに一緒に取り組むことで参加者同士や家族が絆を深めることを目的として実施した事業です。区役所で毎年



行われている

「なかはら子ども未来フェスタ」と同時に開催し、未就学の子どもを始め、多くの方に参加してもらいました。参加者同士が話し合って創意工夫しながらものづくり体験をし、子育て世代の保護者同士、子ども同士が交流するなど、地域の絆がより深まっていました。

■ 地域ふれあいサロンの開催

2つ目が地域ふれあいサロンです。この事業では、区役所が実施する乳幼児健診等のために来所する親子向けに区役所ウッドデッキで子育て相談や絵本の読み聞かせを行い、参加者が多くの人とふれあえる場をつくりました。参加者からは、「楽しく過ごすことができた」「こうした交流の場がもっとあるとうれしい」などの意見がありました。区役所でも、区内の公共施設を活用した子育て支援を広げていきます。



「市民提案型事業」について

中原区では、地域社会の抱える課題を解決するため、地域の団体から地域の課題とその解決方法の提案を受け、地域の団体と行政が協働で課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に「中原区市民提案型事業」を実施しています。

この事業では、2つの方法で提案・実施団体を募集します。

A：区民が区民の視点で地域の課題を発見し、行政と協働で解決を図る手法を提案し、協働型事業として実施するもの

B：区民会議など、地域の課題について審議・検討を進めている組織から提案された地域課題に基づき考えられた解決手法について、実践的な解決に向けた活動をする団体を募集するもの

3. 検討テーマ3：「中原区制 40 周年を迎えて」

中原区は、川崎市が政令指定都市に移行した昭和 47 年 4 月 1 日に設置され、平成 24 年 4 月 1 日で区制 40 周年を迎えます。

近年、中原区は再開発が相次ぎ、まちの姿が大きく変化してきています。委員からは、「転入して間もない区民は、地域の情報を知りたがっている」との意見もありました。そこで、区制 40 周年をきっかけとして、改めて区のこれまでの歴史を振り返りながら、まちの魅力を再認識し、さらなる飛躍を目指すための取り組みを審議しました。

(1) 現状及び課題の把握

これまでの周年事業では、20 周年では「区のシンボルマーク」を作成。25 周年では区の花にパンジーを選定。30 周年では「なかはらの歌『この街のどこが好き?』」と、区誌「わたしたちの中原」を作成しました。また、40 周年の記念事業として、区の発展の様子を記録に残し、歴史を区民と共有し、地元意識を醸成するため、記念写真集を制作しています。

区民会議としては、区制 40 周年を契機として、区を盛り上げるとともに、区民会議としての成果を振り返るための取り組みを議論しました。

区民会議における 区制40周年の位置付け

区民会議が区の地域課題を審議し取り組んできた中で、区を盛り上げるための1つの契機として、区制40周年を考える。

平成24年度は試行から7年目に入り、第3期から第4期への切替でもあり、区民会議としての振り返りを行い、次につなげる。

過去の周年記念の取り組み



区シンボルマーク
(区制20周年で作成)



区の花 パンジー

区の花パンジー
(区制25周年で作成)



なかはらの歌
「この街のどこが好き?」
(区制30周年で作成)



区誌

「わたしたちの中原」
(区制30周年で作成)

(2) 審議内容

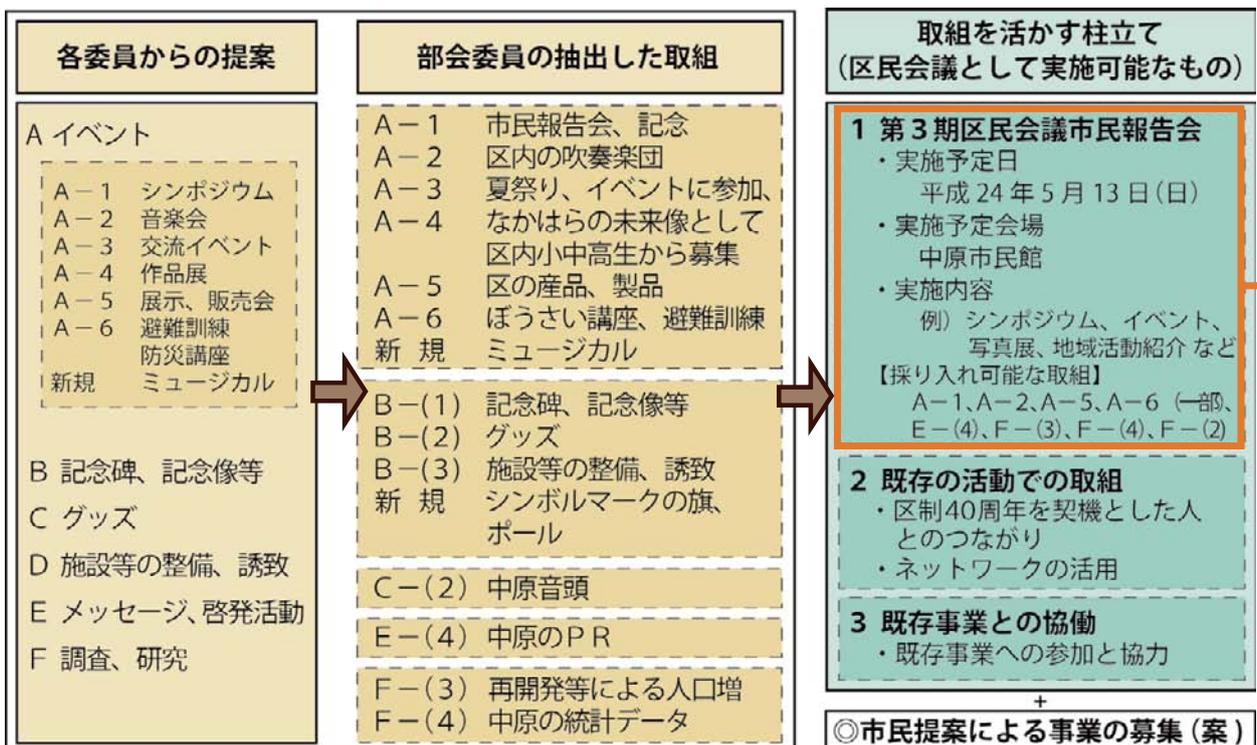
区民会議では、本会議や部会での議論を通じて、課題認識を深めた後、解決に向けた取り組み事項を審議しました。

区制40周年の取り組みについては、「世代をこえて人がつながるなかはら - 未来に夢と希望を託して -」というテーマが課題調査部会から提案されました。取り組みとしては3つの柱としており、そのうち「既存の活動での取り組み」、「既存事業との協働」については、各区民会議委員がそれぞれの活動の中で取り組むこととしました。また、第3期区民会議の成果を報告する市民報告会については、区制40周年を記念したものとし、地域の魅力が伝わるようなシンポジウムや音楽会、展示などを行うこととしました。

取り組みの方向性（課題調査部会の検討結果）

< 中原区制40周年を迎えて >

テーマ(仮)「世代をこえてつながるなかはら 未来に希望と夢を託して」



< 課題調査部会で話し合われた市民報告会の案 >

実施予定日：平成24年5月13日 場所：中原市民館

- ・多目的ホールにて、学校や企業に呼びかけた音楽コンサートや、有名な方のコンサートを交えながら、中原区区民会議の活動報告を行うとともに、区民会議のPRをしたり、まちのコミュニティ形成や、変わりつつある中原の今と昔・そして未来などを語るシンポジウムを開催してはどうか。
- ・フォトコンテストの入選作品や40周年記念写真集の写真を用いた展示をしては。
- ・エレベーター前のホール等も活用して、子どものマナーアップポスターや、中原区の企業の技術が分かる製品等の展示をしては。
- ・体験コーナーとして、中原区に立地する企業の製品体験や、AED講座などがあるとよいのでは。

(3) 課題解決に向けた取り組み事項

■ 検討テーマ「中原区制 40 周年を迎えて」取り組み事項

取り組み内容（分野）		具体的な実行方法（解決策）	実行主体 (協力依頼 団体)	実施スケジュール					
				24年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～ 12月	25 年 1～ 3月	
地域・区民・区民会議の取り組み	イベント	シンポジウム	●市民報告会で中原区区民会議の活動報告を行うとともに、区民会議のPRをしたり、まちのコミュニティ形成や、変わりつつある中原の今と昔・そして未来などを語るシンポジウムを開催する。	区民会議	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
		音楽会	●市民報告会で、シンポジウムだけではなく、学校や企業に呼びかけた音楽コンサートや、有名な方のコンサートを開催する。	区民会議 学校 企業 その他	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
		夏祭り等での交流の場の提供	●夏祭り（区役所等を活用）で交流の場を提供する。様々な団体のネットワークを活用し、区民会議のPRや中原区の魅力を伝えていく。	区民会議 各団体				既存の活動での取り組み等の実施	
		他主体が参加するイベント、区民会議のPR	●市民報告会で他主体を招待してにぎやかなイベントを開催し、区民会議の委員も出席して「区民会議をご存知ですか」キャンペーンを実施する。	区民会議	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
		中原の産品、製品の展示会	●市民報告会でエレベーター前のホール等も活用して、中原区の企業の技術が分かる製品等の展示をする。また、体験コーナーとして、中原区に立地する企業の製品体験などがあるとよい。	区民会議 各企業	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
	啓発活動	中原のPR	●現在住んでいる人たちに、もっとこの中原区が生活していくにも、将来も、最も快適な場所であるということを再認識してもらおう。	区民会議	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
	調査、研究	再開発等による人口増や展望がわかるデータ	●マンション等建設計画の展望と期間、今後どのくらい人口が増えるのか、また、子育てアンケートの結果を踏まえ、子育て応援体制について考える。		市民報告会の準備	市民報告会の実施			
中原の実態や課題がわかるデータ		●現在の中原区の実態や課題を把握するための各種統計データを基礎資料としてまとめる。資料概要としては、区民の暮らしに関するデータ（人口統計、事業所、商業、緑地・公園等）、環境に関するデータ（再開発、土地利用、住環境、河川、防災、町内会・自治会、医療機関、医療施設）。		市民報告会の準備	市民報告会の実施				
	その他	既存の活動の取り組み	●区民会議のネットワークを活用しそれぞれの事業に冠を付して実施する。					既存の活動での取り組み	

取り組み内容（分野）		具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼 団体）	実施スケジュール					
				24年 1～3 月	4～6 月	7～9 月	10～ 12月	25年 1～ 3月	
区民と行政の協働による取り組み	イベント	作品展	●市民報告会でエレベーター前のホール等も活用して、子どものマナーアップポスター等の展示をする。	区民会議 中原区役所	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
		防災意識の向上	●市民報告会で防災ガイドブックの配布や防災に関する報告を行う。	区民会議 自主防災 組織 中原区役所	市民報告会の準備	市民報告会の実施			
		ミュージカルの公演	●中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を公演する。	各団体 中原区役所	既存事業との協働や、市民からの提案事業の実施等を検討	市民提案型事業として実施			
行政の取り組み	記念像等、記念碑	シンボルマークの活用	●シンボルマークを使った旗を作製し、区内のイベント等に活用し、主たる掲揚場所として等々力公園内にポールを設置する。	中原区役所	旗の作成及びポールの設置				
	記念写真集の作成・発行		●区制40周年記念写真集を作成し、発行する。	中原区役所	写真集の編集	写真集の販売			
	区制40周年の冠を付した事業の実施		●既存事業の内容に応じて区制40周年の冠を付して事業を実施する。	中原区役所		取り組みを実行			
その他	区民祭の取り組み		●地域における更なる交流、つながりを目指してさまざまな取り組みを実施する。	実行委員会 各団体 中原区役所				区民祭の実施	

(4) 課題解決に向けた取り組み事例

■ 区民会議市民報告会の開催

平成24年5月13日(日)に第3期区民会議市民報告会を開催します。この報告会は、区民会議で提案された内容のプログラムとしました。

- 〈プログラム〉
- 1 オープニング演奏：富士通川崎吹奏楽団
 - 2 第3期区民会議報告
 - 3 基調講演：天野 春果 氏（川崎フロンターレ）
 - 4 エンディング：区内高校生等のダンスパフォーマンス
- その他 区の名産、工業製品などの展示



■ 区制40周年記念写真集の作成

中原区役所では、近年大きな変化を遂げているまち並みの様子を写真で記録にとどめるとともに、区民の皆様が地元意識を持てるように、記念写真集の制作を行いました。武蔵小杉駅周辺を中心とした再開発事業に伴い、区は人口増加が続いています。新たに中原区に住まわれた方にも区の歴史を知ってもらえる取組として期待されています。



■ 等々力緑地へのポールの設置

区民にまちへ親しみを持ってもらうため、シンボルマークの普及を促したほうが良いとの意見が会議で出されました。この意見を踏まえ、中原区役所では区民の憩いの場として親しまれるとともに、多くのイベントが開催されている等々力緑地に、旗を掲揚するためのポールを設置しました。また、中原区の旗を作成し、区民への貸し出しを始めています。

■ 市民提案型事業

審議課題「中原区制40周年を迎えて」において、区民会議で提案された「世代をこえて人がつながるなかはら—未来に夢と希望を託して」をテーマとして、市民から事業提案を受けました。その結果、平成24年度に区民と行政の協働により、次の4事業を実施することになりました。

事業名	実施団体
みんなで創る物語「なかはらミュージカル」事業	なかはらアクトストリート企画委員会
伝えて、作って、つながる、なかよし・なかはら公演事業	おと絵がたり
輪投げを通じた世代交流事業	中原区老人クラブ連合会
シニアファッションショー事業	ユニゾンウィンズ